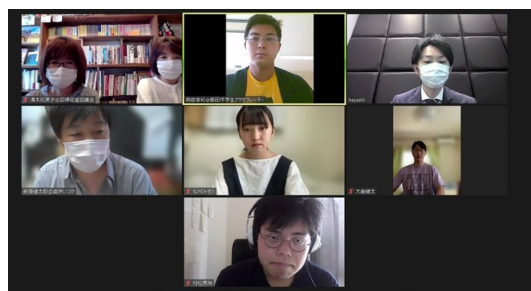


令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	インターンシップアシスト事業
事業主体 (連絡先)	回帰促進協議会 0265-22-4511 (内線3514)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,977,975 円 (うち支援金: 1,354,000 円)

事業内容

- ・学生が気軽に参加できるオンラインコミュニケーション事業「お手軽インターンシップ」の実施 (令和4年7月～9月)
実施回数:29回 参加事業所:23事業所 参加学生:60人
- ・企業の情報発信力向上のための個別面談の実施(令和4年7月～9月)
実施回数:28回 参加事業所:24事業所
- ・新たにインターンシップ導入する企業向けの手引書の作成
- ・地元企業のインターンシップ受入情報の集約と発信
43事業所の情報を集約しホームページ等で発信



【お手軽インターンシップの様子】

【目標・ねらい】

- ① 学生と地元企業のオンライン事業による接点づくり
- ② 地元企業のインターンシップ受入活動の活発化
- ③ 様々な媒体を活用した地元企業の情報発信

事業効果

- ① お手軽インターンシップは21事業所が実施し、延べ60人の学生の参加があり、学生が気軽に企業を知る機会となった。
- ② お手軽インターンシップには、これまでインターンシップの受入を実施していない事業所の参加もあり、企業の新たな取組につながることができた。
新たにインターンシップに取り組んだ事業所: 9事業所
- ③ SNSや紙媒体など、様々な媒体により情報を発信することにより、多くの学生や保護者などの関係者に情報を届けることができた。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・多くの事業所の参加が得られ、学生が地元企業を知る機会となった。
- ・新たにインターンシップに取り組む事業所が9事業所あった。
- ・SNS、紙媒体などを活用し対象に応じて効果的な情報発信ができた。

今後の取り組み

地元企業を対象としたインターンシップ実施状況調査では、回答があった43事業所中、22事業所が実施中、20事業所が検討中という回答だった。学生の就職活動におけるインターンシップの重要性は今後さらに高まることが予想されるため、調査を継続的に行い、地域の状況を把握し課題に対応していきたい。

今年度の事業では、これまでの3年間の取組の成果を踏まえて、新たにインターンシップの導入を考えている事業所向けの「インターンシップ導入の手引き」を作成した。取組を検討中の事業所に対して、この手引書を活用して取組を促し、地域のインターンシップ受入活動を活発化させていきたい。